

自動タイプ

ガスふろがま

取扱説明書
保証書付



品名 GF-123AW
型式名 GF-123AW



このたびはガスふろがまをお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいた
だき、十分理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところ
へ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店ま
たは、弊社窓口へご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月
をお知らせください。



もくじ

ページ

製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8
機器本体	8
浴槽	8
浴室リモコン	8

お使いいただく前に

ご利用前の準備	9
機器の準備	9
浴室リモコンを「入」にする	9
おふろを沸かすには	9
ふろ温度の設定	9
ふろ水位の設定	10
保温時間の設定	10
お知らせチャイムの設定	11
自動運転について	11
おふろ沸かしを行う	11
沸かし直しをするには	13
おふろのお湯を熱くするには(追いだき)	14
追いだきを行う	14

使い方

冬期の凍結予防をするには	15
凍結予防装置による方法	15
機器内の水を抜く方法	15
凍結してしまったときは	16
再使用するときは	16
点検のポイント・お手入れのしかた	17
点検のポイント(月1回程度)	17
定期点検のおすすめ(有料)	17
お手入れのしかた(月1回程度)	17
点検・お手入れ後の確認	18
故障かな?と思ったら	19
浴室リモコンのアラーム表示	20
アフターサービスについて	21
仕様一覧	22
保証書	裏表紙

長くお使いいただくために

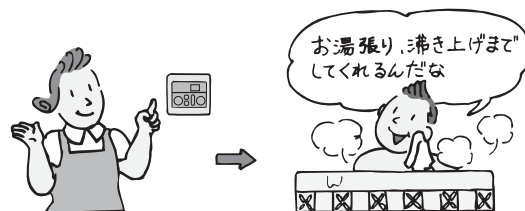
製品の特長

このガスふろがまは、次のような特長をそろえています。

自動運転

(→P. 11 参照)

- スイッチを押すだけの簡単操作でおふろが沸かせます。リモコンで設定したふろ水位(湯量)と温度で沸き上げ、自動的に保温します。



保温機能

(→P. 12 参照)

- 沸き上がりから保温設定時間内は浴槽の湯温を約15~30分ごとに検知し、設定温度より下がっていたら、自動的に温めます。



追いだき運転

(→P. 14 参照)

- スイッチを押すだけの簡単操作でぬるくなったお湯を熱くすることができます。



凍結予防装置

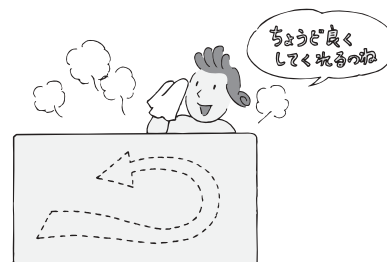
(→P. 15 参照)

- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、機器本体の凍結を予防するヒータが組み込まれています。



ポンプで循環

- 浴槽のお湯は内蔵のポンプによって循環してほぼ均一に沸き上げるため、上下の温度差が少なくなります。



安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気禁止



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜け



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照)

参照ページを示しています。

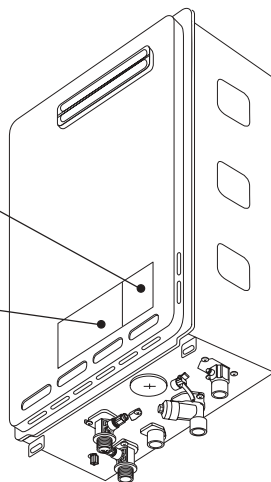
■機器本体の表示について

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

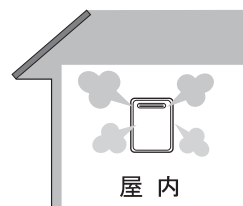
⚠ 危険

屋内設置の禁止

- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができなため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止



屋内

必ずお守りください

⚠ 危険

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、

①すぐに機器の使用をやめて、
ガス栓を閉じる。

またメーターのガス栓も閉じる。

②お買い上げの販売店または、最寄りの
ガス事業者（供給業者）に連絡する。



- すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない



火気禁止

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

⚠ 警告

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。

設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールシートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取り外しの際には、必ずお買い上げの販売店または、弊社窓口へご相談ください。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器の本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形などによるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。



分解禁止

機器の銘板を確認

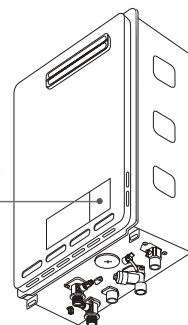
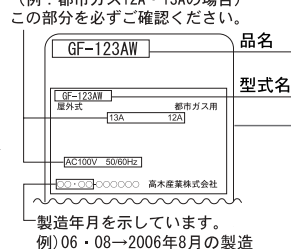
- 機器の銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

- 転居時の注意は（→P. 21 参照）



ガス種・電源を確認

（例：都市ガス12A・13Aの場合）
この部分を必ずご確認ください。



お子様には十分な注意を

- 浴槽のお湯（水）に潜ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



入浴時の注意

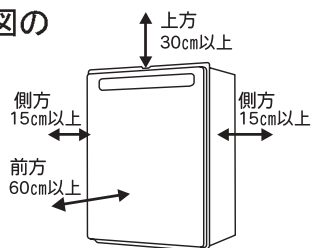
- 浴槽に入るときは、手で湯温を確認して入浴する。また、浴槽内のお湯は上下に温度差がある場合がありますのでご注意ください。
- お風呂沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、循環口付近が熱くなっていることがあるので注意する。

必ずお守りください

警告

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の
離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



注意

電気事故防止

- 電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。電源プラグのほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



地震・火事などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

異常時の処置について

- ①使用途中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ②「故障かな?と思ったら」(→P. 19~20参照)に従って処置をする。
- ③上記の処置をしても直らない場合、または使用中に異常な燃焼や臭気、異常音を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または、弊社窓口へ連絡する。



ガス栓を閉じる



やけどに注意

- 機器の使用時、または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止



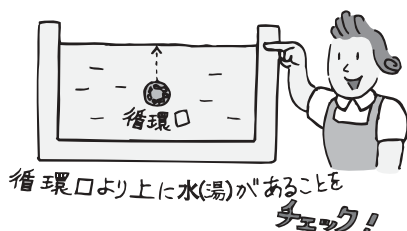
アースを接続する

必ずお守りください

⚠ 注 意

空だき防止

- 追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に、水(湯)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



ソーラー機器との接続について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。ソーラー機器からの水温が高くなるため、自動運転を行うことができません。

用途についての注意

- 一般家庭でのおふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

配管カバー(または据置台)についての注意

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。(→P. 18参照)

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

浴室リモコンの扱いについて

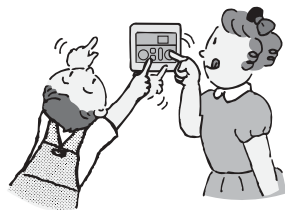
- 浴室リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- 浴室リモコンはお子様がいたずらしないよう、注意してください。



分解禁止



禁 止



電源プラグを抜かない

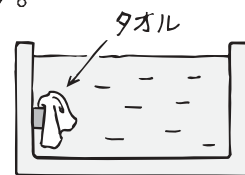
- お手入れの際や長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



禁 止



ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃烧していることを浴室リモコンの燃烧ランプで確認してください。

断水のと き

- 断水のと きは機器の使用ができません。アラーム番号“562”が表示され、運転を停止します。通水したことを確認してから、機器を使用してください。

必ずお守りください

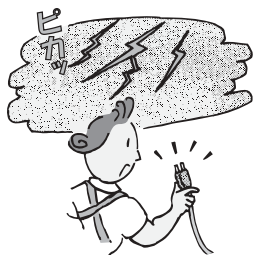
お願い

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷による一時的な過電流で、電子部品を損傷することがあります。



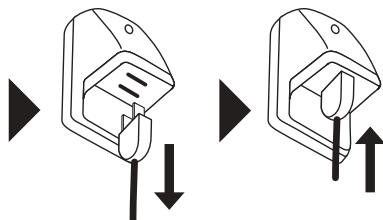
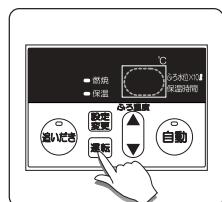
電源プラグを抜く



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときは買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

押しても画面に表示しない



電源プラグを抜いて差し込む

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P. 15参照）に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って、機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用するときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」（→P. 9参照）の項以下の操作を行ってください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります。（有料）

日常の点検 お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 17～18参照）
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず、薬草入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



必ずお守りください

お願い

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、浴室リモコンの再設定（ふろ温度・保温時間）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- おふろを沸かしているときに、停電になると、おふろ沸かしが停止します。通電後、「おふろを沸かす」に（→P. 9 参照）の項以下の操作を行ってください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

長期間使用しないときは

- 「機器内の水を抜く方法」（→P. 15 参照）に従って、水抜きを行ってください。おこたると冬期に凍結する場合があります。



お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼ファン、ポンプ回転音等）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者にご相談ください）
- 足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検修理のためと燃焼不良の発生を防止するためです。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。



排気ガス

- 増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。



塩ビ管の使用について

- 給水配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食して、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

■ 機器本体

排気口

排気が出ます

フロントカバー

給気口

ガス栓

給水元栓

電源プラグ

電源コンセント

■ 浴槽 (別売品)

循環口フィルター

(循環アダプター: TP-S200シリーズ 別売品)

掃除のときに外します。(→P. 18参照)

■ 浴室リモコン

※図のリモコンの表示画面は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。

設定変更スイッチ

ふろ水位・保温時間を設定するときに押します。

(→P. 10参照)

燃焼ランプ[赤]

機器の燃焼中に点灯します。

保温ランプ[緑]

自動運転の保温中に点灯します。

追いだきランプ[赤]

追いだき中に点灯します。

(→P. 14参照)

追いだきスイッチ

お風呂がぬるくて熱くしたいときに押します。

(→P. 14参照)

運転スイッチ

操作するときに最初に押して「入」にします。

表示画面

ふろ温度やふろ水位・保温時間を表示します。

保温時間ランプ[赤]

保温時間を設定するときに点灯します。

(→P. 10参照)

ふろ水位ランプ[赤]

ふろ水位を設定するときに点灯します。

(→P. 10参照)

自動ランプ[緑]

自動運転中に点灯します。

(→P. 11, 12参照)

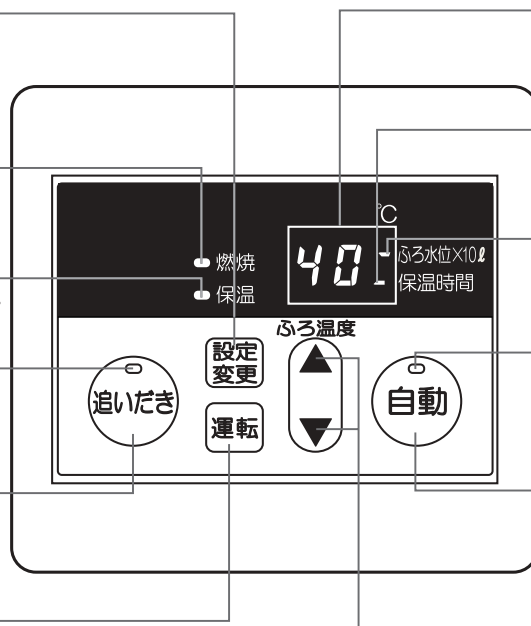
自動スイッチ

設定した温度でお風呂を沸かし、設定した時間で保温をします。

(→P. 11, 12参照)

ふろ温度設定スイッチ

ふろ温度やふろ水位・保温時間を調節するときに使用します。



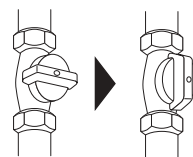
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。
準備ができたなら、浴室リモコンのスイッチを入れてみましょう。

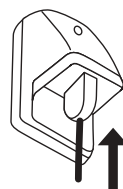
■機器の準備

- 1 「点検のポイント」(→P. 17 参照)の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。
- 2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。

- 3 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。
アースが接続されていることも、確認してください。



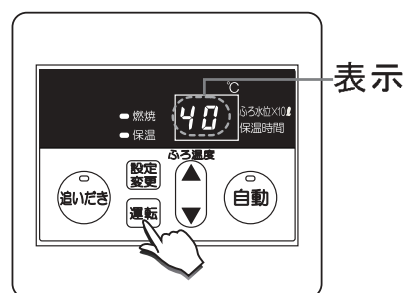
■浴室リモコンを「入」にする

- 1 浴室リモコンの運転スイッチを押します。
浴室リモコンの表示画面にふろ温度が表示されます。

- 2 試運転を行います。

- ①自動スイッチを押します。
- ②浴槽の循環口から、水が出てくることを確認します。
- ③自動スイッチを押して、停止します。

使わないときは、**運転**スイッチをもう一度押します。
浴室リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

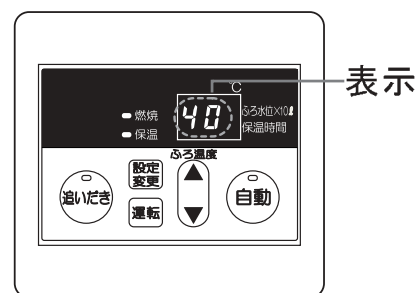


●工場出荷時のふろ温度は40°Cの設定になっています。

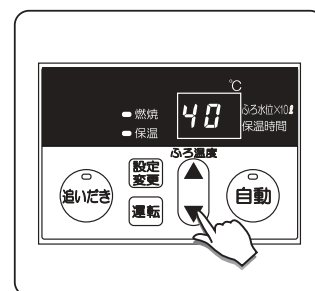
お風呂を沸かすには

■ふろ温度の設定 沸き上がりの温度を設定します。

- 1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。
浴室リモコンが「切」のときは、**運転**スイッチを押します。



- 2 ふろ温度を高くしたいときは▲スイッチを、低くしたいときは▼スイッチを押します。
スイッチを1回押すたびに1°Cずつふろ温度が上下します。
下記の範囲で設定できます。



ご使用の目安 (単位:°C)

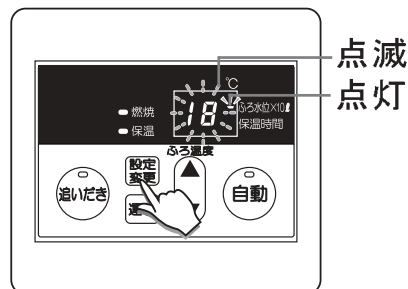
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい				標準							あつい

40:工場出荷時

お風呂を沸かすには

■ふろ水位の設定 浴槽に入るお湯の量を設定します。

1 設定変更スイッチを1回押します。
ふろ水位ランプが点灯し、ふろ水位が点滅します。

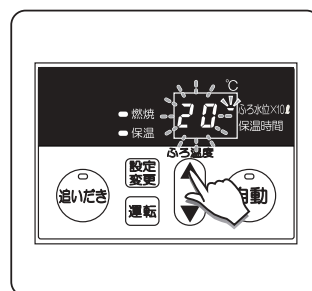


2 ふろ水位を高くしたいときは▲スイッチを、低くしたいときは▼スイッチを押します。
▲または▼スイッチを、ふろ水位が点滅している間(約10秒間)に押します。下記の範囲で設定できます。

ふろ水位	5	10	12	14	16	18	20	22
お湯の量(約ℓ)	50	100	120	140	160	180	200	220
ふろ水位	24	26	28	30	32	36	40	50
お湯の量(約ℓ)	240	260	280	300	320	360	400	500

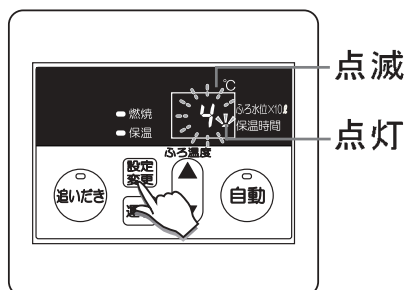
□ : 工場出荷時

設定後、10秒間スイッチの押し操作がないと水位ランプが消灯し、ふろ温度の表示に戻ります。



■保温時間の設定 浴槽のお湯の保温時間を設定します。

1 設定変更スイッチを2回押します。
保温時間ランプが点灯し、保温時間が点滅します。



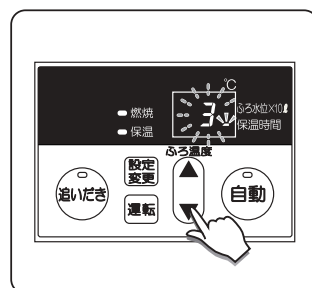
2 保温時間を長くしたいときは▲スイッチを、短くしたいときは▼スイッチを押します。
▲または▼スイッチを、保温時間が点滅している間(約10秒間)に押します。下記の範囲で設定できます。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
(単位:時間)								

4 : 工場出荷時

※保温しない場合は、“0”に設定してください。

設定後、10秒間スイッチの押し操作がないと保温時間ランプが消灯し、ふろ温度の表示に戻ります。



❗ご注意ください



- ふろ温度・保温時間を設定範囲外に設定しようとするとき“ピピピピ”と警告音が鳴ります。
- 設定は記憶されるので、次回からは設定する必要がありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電したときは、工場出荷時の設定に戻りますので再設定が必要です。
- 「ふろ水位」点滅中に設定変更スイッチを押すと、「保温時間」の設定に移ります。「ふろ水位」「保温時間」を続けて設定することができます。

お風呂を沸かすには

■お知らせチャイムの設定

自動運転でお風呂を沸かした場合、沸き上がり時にお風呂が沸いたことをお知らせする“お知らせチャイム”を設定することができます。

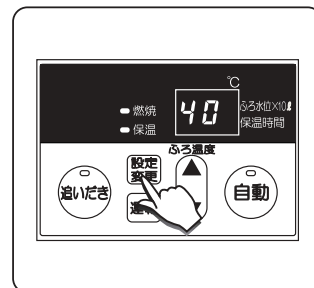
※工場出荷時は、“お知らせチャイム”の設定がされていません。

設定

設定変更スイッチを10秒間長押しします。

“ピッピッ”と鳴り、お知らせチャイムが設定されます。

自動沸き上がり時に「ピロ・ピロ・ピロ・ピロ……」と約10秒間チャイムが鳴ります。



解除

設定変更スイッチを10秒間長押しします。

“ポツ”と鳴り、お知らせチャイムが解除されます。

■自動運転について

自動スイッチを押すだけで、設定した風呂温度・風呂水位でお風呂を沸かし上げ、設定した時間で保温も行います。



■お風呂沸かしを行う

お好みの設定ができれば、お風呂を沸かします。

準備

①排水栓をします。



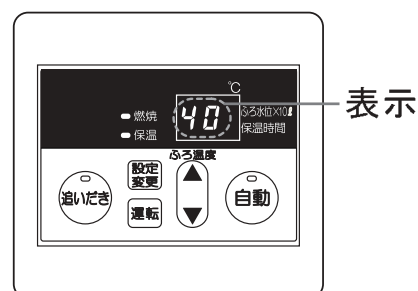
②浴槽のふたをします。



1

浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。

浴室リモコンが「切」のときは、運転スイッチを押します。



お願い

●排水栓をし忘れると浴室リモコンに“252”が点滅し運転が停止します。

この場合は排水栓をしてリセット操作（→P. 20参照）を行い、自動運転を行ってください。

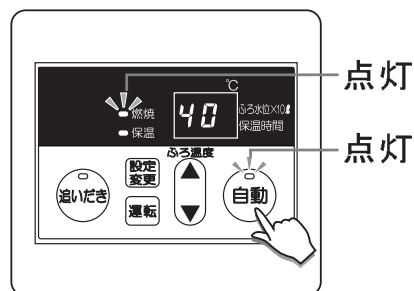
お風呂を沸かすには

2

自動スイッチを押します。

浴室リモコンの自動ランプが点灯します。
表示画面に設定したふろ水位を3秒間表示します。
しばらくすると燃焼ランプが点灯し、
浴槽の循環口からお湯が出てきます。

※循環口から出てくるお湯の温度は、ふろ温度とは異なります。

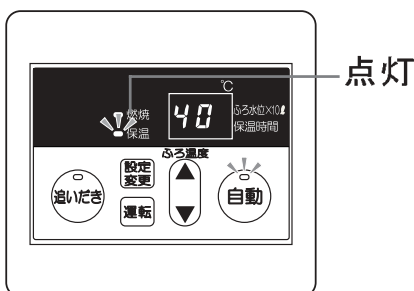


浴槽のお湯を循環させて沸かします。

お湯張りが終了すると燃焼ランプが消灯します。
浴槽のお湯を循環させ、ふろ温度まで沸かし上げます。
このとき再度、燃焼ランプが点灯します。

ふろ温度でおふろが沸き上がります。
燃焼ランプが消灯し、保温ランプが点灯します。

※保温時間を“0”で設定している場合は、保温ランプは点灯しません。

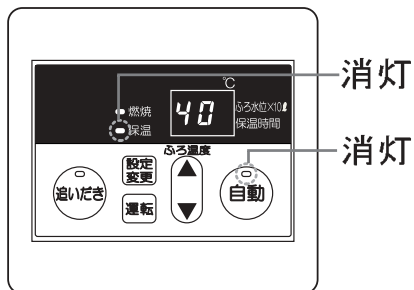


入浴できます。

設定した保温時間で、浴槽の湯温を保ちます。

気温等により、約15～30分の間隔でポンプが回り温度を検知し、温度が下がっていると自動的に設定ふろ温度まで、お風呂を沸かして保温します。

設定した保温時間を過ぎると、自動運転が停止します。
浴室リモコンの自動ランプと保温ランプが消灯します。



自動運転を途中で停止したいときは

自動運転中にもう一度、自動スイッチを押します。

自動ランプが消灯（保温中は保温ランプも消灯）し、自動運転を停止します。

警告 ●お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

●入浴の際は念のためよくかきまぜて、湯かぜんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

●自動運転中に停電になると運転が停止し、循環口からの湯も止まります。通電後運転スイッチを押し、リモコン設定を確認後「沸かし直しをするには」(→P. 13参照)をご覧ください。



●自動運転中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に、浴室リモコンの燃焼ランプがいたり消えたりすることは異常ではありません。

●自動運転でお湯張りするお湯はぬるま湯で、ふろ温度とは異なります。また、水道の使用状況（他所で多量に水を使用している場合など）によっては、水になる場合もあります。

●保温中は、燃焼ランプが点灯することがあります。

お風呂を沸かすには

■沸かし直しをするには 自動運転終了後の残り湯を沸かし直します。

「お風呂沸かしを行う」(→P. 11 参照)と同じ操作で行います。

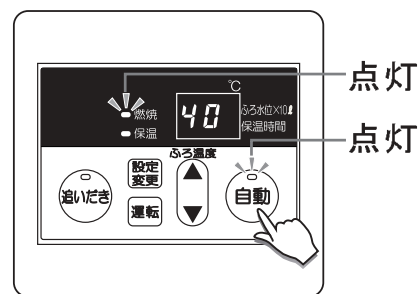
また、「お風呂のお湯を熱くするには(追いだき)」(→P. 14 参照)でも行うことができますがたし湯は行いませんので、残り湯の水位がふろ水位に近いときにこの方法で行ってください。

1

浴室リモコンの 自動スイッチを押します。

浴室リモコンの自動ランプが点灯します。

しばらくすると、燃焼ランプが点灯し、お風呂沸かしが
始まります。



沸かし上げ後の水位はふろ水位と一致しません

残り湯の水位が循環口より低い場合

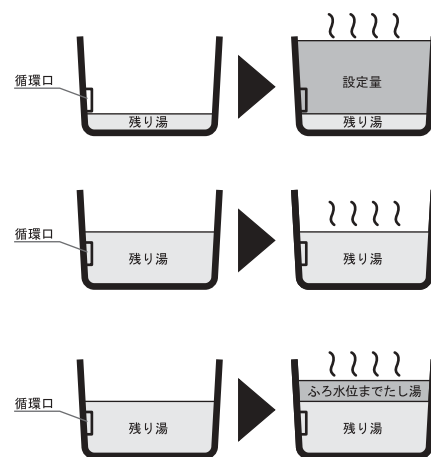
- ・残り湯の分だけふろ水位が増えますので、お湯のあふれにご注意ください。

残り湯の水位が循環口より高く、湯温とふろ温度との差が約5℃未満の場合

- ・たし湯を行わずに、ふろ温度まで沸き上げます。

残り湯の水位が循環口より高く、湯温がふろ温度よりも約5℃以上低い場合

- ・ふろ水位になるまでたし湯を行い、ふろ温度まで沸き上げます。
(たし湯量は残り湯量・季節等によりばらつきがあります)



⚠ 警告 ●お風呂の沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。

- 入浴時には十分かきまぜて、必ず手で温度を確かめてから入浴する。



- 残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで、異常ではありません。

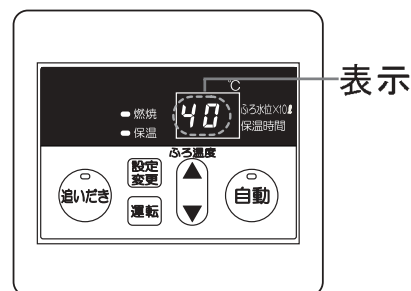
- 自動運転中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に、浴室リモコンの燃焼ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。

お風呂のお湯を熱くするには(追いだき)

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。
この機能を「追いだき」といいます。

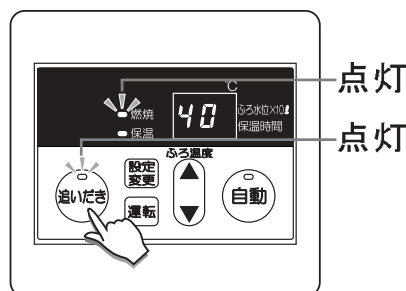
■追いだきを行う

- 1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。
浴室リモコンが「切」のときは、**運転スイッチ**を押します。



- 2 追いだきスイッチを押します。
追いだきランプが点灯します。
しばらくして、燃焼ランプが点灯します。

運転が終わると、追いだきランプと燃焼ランプが消灯します。



もっと熱くしたいときは

追いだき運転終了後にもう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプと燃焼ランプが点灯し、追いだき運転を始めます。

追いだきを途中で停止したいときは

追いだき運転中に、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプと燃焼ランプが消灯し、追いだき運転が停止します。

⚠ 注意 ●追いだきの操作をするときは、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

🙏 お願い ●表示されているふろ温度と浴槽内の湯温は、配管の長さや外気温等で必ずしも一致しません。
表示温度は目安としてお使いください。

✖ 注意 ●追いだきで停止の操作をしない場合、現在温度+2°Cまで沸き上げて自動的に停止します。ただし、現在温度+2°Cまで沸き上げても湯温がふろ温度に達しない場合は、ふろ温度まで沸き上げて停止します。
●保温中でも追いだきの操作ができます。追いだきが終了すると保温に戻ります。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温-15℃、有風5m/秒程度まで）

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水（湯）を循環（ポンプ運転）して、凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたりブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ・凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ・機器内の凍結は予防できても、給水およびふろ配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。



浴槽の水（湯）は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- ・浴槽の水（湯）を循環し凍結予防するため、浴槽の残り湯は捨てずにそのままにしておいてください。

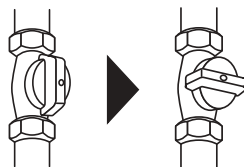
■機器内の水を抜く方法

寒波などで特に寒くなりそうなとき（外気温-15℃より低い場合やそれ以上の気温でも風のある日）や入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この方法で凍結予防します。

- ⚠️注意 ● 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
● 水が流れて不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

機器設置場所

- 1 ガス栓（1）・給水元栓（2）を閉じます。



浴室

- 2 浴槽の水を完全に排水します。
- 3 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、追いだきスイッチを押し、アラーム番号“562”が表示されるまで待ちます。

機器設置場所

- 4 必ず、電源プラグ（3）を抜きます。
電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。
- 5 水抜き栓（4）を外し、水抜き栓（5）（6）（7）を水が出るまでゆるめます。
- 6 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けます。

水抜き栓（4）

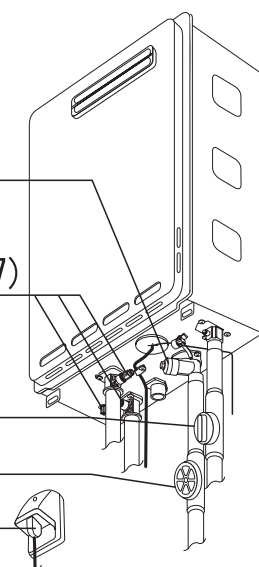
（給水口フィルター）

水抜き栓（5）（6）（7）

ガス栓（1）

給水元栓（2）

電源プラグ（3）



- ⚠️注意 ● 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 18参照）

- お願い ● 水抜きの操作を行った後は、浴槽に水を入れないでください。

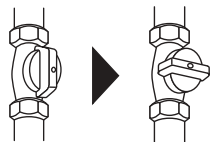
冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったときは

凍結したときは機器の使用ができなくなります。次の操作により水漏れがないことをご確認のうえ、ご使用ください。

機器設置場所

- 1 ガス栓を閉じます。
- 2 給水元栓を閉じます。



機器設置場所

- 4 解凍するまで待ち、給水元栓を開けて機器および配管から水漏れがないことを確認します。水漏れがなければ、ガス栓を開けます。

浴室

- 3 運転スイッチを「切」にします。

浴室

- 5 運転スイッチを「入」にします。自動運転を行い、水位などを確認します。

- お願い**
- 凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。
 - 機器や配管が破損しますと、高額な修理代がかかる場合がありますのでご注意ください。
 - 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用は、お客様の負担となります。

■再使用するときは

機器内の水を排水した後、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

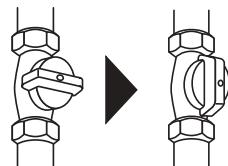
機器設置場所

- 1 水抜き栓(4)(5)(6)(7)が閉じていることを確認します。

- 2 給水元栓(2)を開けます。機器や配管より水漏れがないか確認します。

- 3 ガス栓(1)を開けます。

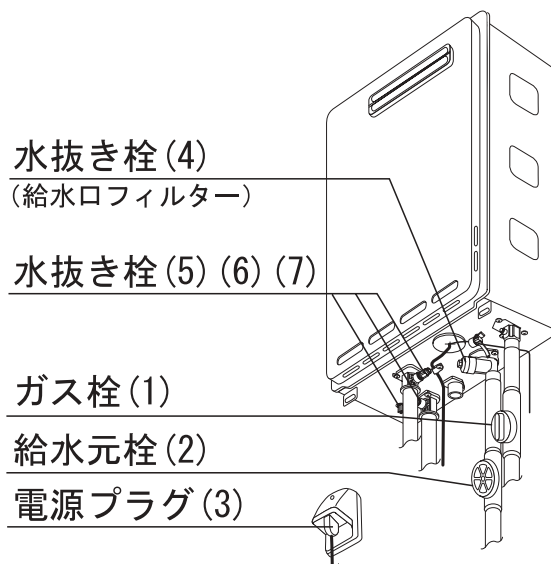
- 4 電源プラグ(3)を差し込みます。



浴室

- 5 運転スイッチを「入」にし、ふろ温度・ふろ水位・保温時間を設定し直します。

- 6 自動運転を行い、水位などを確認します。



- お願い**
- 再使用するときは、水抜き栓が元通りに確実に閉じていることを確認してください。閉じ方が不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

点検のポイント・お手入れのしかた

安全に正しくお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。

■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？

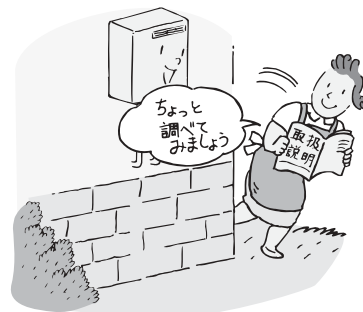
また、整然とされていますか？

機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としてしまうと、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 7 積雪や、屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれていませんか？

給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。

積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。



■定期点検のおすすめ（有料）

機器を安心してより長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。

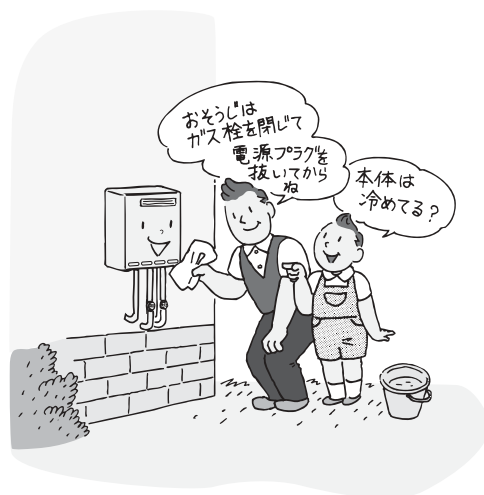
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。

点検はお買い上げの販売店または、弊社窓口へご相談ください。

■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体および浴室リモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



⚠ 警告 ●機器本体のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

⚠ ●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。

お願い ●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。



分解禁止

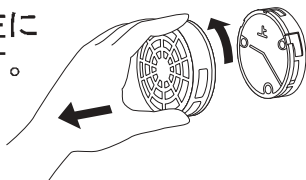
点検のポイント・お手入れのしかた

循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、お風呂沸かしや追いだし運転ができなくなります。

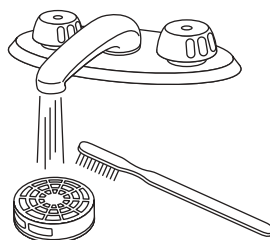
循環口フィルターの外し方

- ①循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

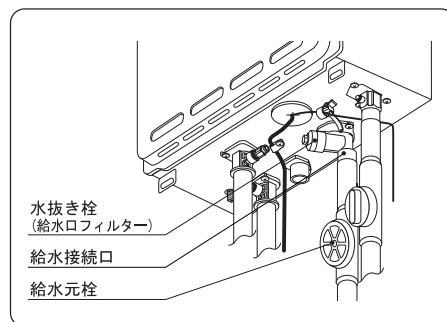
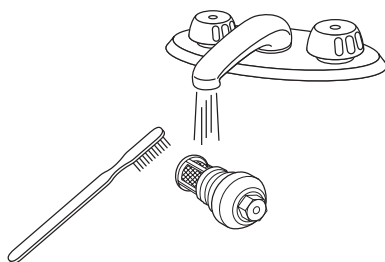
- ①歯ブラシなどで洗います。
- ②掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。



給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯張りに時間がかかったり、お湯張りできなくなる場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に新築の場合）

- ①給水元栓を閉じます。
- ②給水接続口にある水抜き栓（給水口フィルター）を外します。
- ③歯ブラシなどで洗います。
- ④元のように取り付けます。



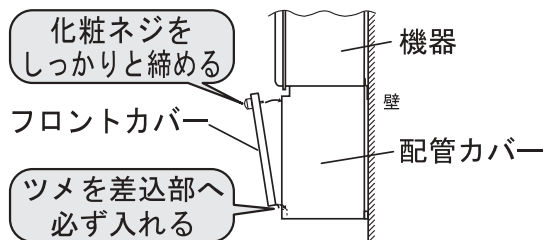
■点検 お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、給水元栓・ガス栓を開いて自動運転を行い、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

別売の配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジをしっかりと締める。



- お願い**
- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。
 - 水抜き栓（給水口フィルター）を外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

故障かな？と思ったら

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に表示が出ない

電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.9参照)
停電していませんか (→P.7参照)

リモコンの燃焼ランプが点灯しない

ガス栓が全開になっていますか (→P.9参照)
給水元栓が全開になっていますか (→P.9参照)
ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか
LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか
循環口・給水口フィルターが詰まっていますか (→P.18参照)

自動運転や追いだき中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→P.9参照)

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度の設定は適切ですか (→P.9参照)
循環口フィルターが詰まっていますか (→P.18参照)

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか (→P.10参照)

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください。

こんなとき

故障ではありません

お湯が白く濁って見える

これは水中に溶け込んでいた空気が急に熱せられることにより、白く目に見えるような無数の細かい泡となって出てくる現象です。この気泡は汚濁とは違って、まったく無害なものです。また、時間の経過とともに自然に消えます。

浴槽が青く見える

湯ア力が残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。

寒い日排気口から白い湯気が出る

外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。

冬期など寒いときポンプが回る

凍結予防のため、自動的にポンプが回ります。

自動スイッチや追いだきスイッチを押した後、すぐに燃焼ランプが点灯しない

施工条件によっては、すぐに燃焼ランプが点灯しない場合があります。

自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する

浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。

保温中ときどきポンプが回る

浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15~30分間隔で回ります。

運転終了後もしばらくポンプが回る

「自動」「追いだき」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。

ときどき水抜き栓から水が出る

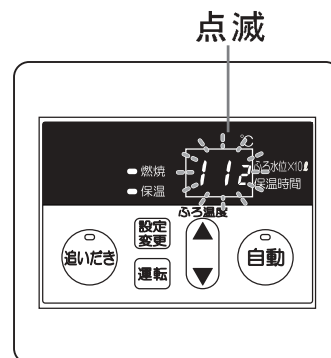
水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給水接続側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃がすために水が出る場合があります。

以上のことをお調べのうえ、
お買い上げの販売店または、
弊社窓口へご連絡ください。

故障かな？と思ったら

■浴室リモコンのアラーム表示

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示画面にアラーム番号が点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が点滅したときは、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。



アラーム番号	内 容	処 置 方 法
112	点 火 不 良	ガス栓が全開であることを確認後、リセット操作
122	失 火	
162	高温入水による自動運転停止	リセット操作
252	ふろ水流スイッチ異常	
312	ふろサーミスタ断線・短絡	
422	注湯量センサーON故障	
562	注湯電磁弁異常	
612	燃 焼 フ ァ ンの 故 障	
702	制 御 基 板 異 常	
722	擬 似 炎 検 出	
752	浴室リモコン通信異常	「電源プラグの抜き差し」をし、5秒以上経過してから 運転 スイッチを「入」にしてお使いください
510	元ガス電磁弁故障	
512	ふろガス電磁弁故障	機器の使用はできますが、なるべく早く修理を依頼してください
392	燃焼異常検知装置の故障	
102	燃焼異常が発生したため	
992	燃焼異常検知装置が作動	修理を依頼してください

それでもアラーム番号が
でるときは、点検・修理
を依頼してください

リセット操作 リモコンの**運転**スイッチを「切」にし、3 秒以上経過してから、**運転**スイッチを「入」にする。

■こんな場合には安全装置が働きます

- 寒いとき、機器の電気ヒータが働き機器内の凍結を予防します。……………凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないときに作動し、ガスを自動的に停止します。……立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……………漏電安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。……………過熱防止装置
- ポンプが循環していないのに燃焼している場合にガスを止める……………空だき安全装置

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 19~20参照)の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名: GF-123AW
ガスの種類(例) 12A 13A
※銘板をご覧ください。(→P. 3参照)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム表示などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後6年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店または、転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気口からの温風や機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店または、弊社窓口へお問い合わせください。

※弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) 給水元栓・ガス栓を閉じます。
 - (2) 機器の水抜きを行います。(→P. 15参照)
 - (3) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
品	名	GF-123AW
型	式	GF-123AW
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅350×奥行170×高さ520/14.0
設置	方式	屋外壁掛形
点	火	方式
		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
水	使用	水圧
圧	最低	作動水圧
		100~500kPa(1.0~5.0kgf/cm ²)
		80kPa(0.8kgf/cm ²)
接続	ガス	15A(R1/2)オネジ
	給	水
	追い	だき往・戻
		15A(G1/2)オネジ
電気	電源	AC100V(50/60Hz)
関係	リモコン側	24V以下
	消費電力	無負荷
		3W
		使用時
		112W/133W
		凍結予防
		電気ヒーター72W ポンプ運転108/130W
	電源コード/リモコンコード	VCT(2心)機外長1.5m/FMY02-〇〇(2心)
安全	装置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 空だき安全装置(ハイリミット) 凍結予防ヒータ、ポンプ運転(凍結予防装置) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ)
付	属	品
		取扱説明書、工事説明書、浴室リモコン
別	売	品
		循環アダプター、リモコンコード

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりの ガス消費量 kW{kcal/h}	自動沸き上げ終了時間(分) ふろ水位(湯量)180ℓの場合			ガス 接続
			春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市 ガス	13A	14.0 {12,000}	28	17	39	15A (R1/2)
	12A	13.1 {11,250}	30	18	41	
LPガス		14.0 {1,00kg/h}	28	17	39	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力するとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

◎自動沸き上げ時間は実際とは異なる場合がありますので、目安としてお使いください。

ガスふろがま

パーパス 商品保証書

品名 GF-123AW

お買い上げ日		年 月 日	保証期間	1 ヶ年
お客様	ご住所			
	ご芳名	様		
販売店	住所名	TEL	印	

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- 保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- 万一故障の場合はお買い上げの販売店または、弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- 保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外（例えば業務用・船舶・車両上でのご使用）にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ) 給水配管の錆び等異物混入による故障
 - (ル) 温泉水・井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 商品や修理以外のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

高木産業株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター（修理受付のみ）

TEL 0120-260-884（通話料金無料）

携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。

受付時間：年中無休 24時間修理受付

お客様相談室（商品や修理以外のお問い合わせ等）

TEL 0545-32-1389

受付時間 平日 9：00～19：00

土曜日・日曜日・祝日 9：00～17：00

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。